

9月30日(日)弁天座で「絵金生誕200年記念式典」が約180人の出席者のもと、盛大に開催されました。

式典の皮切りには、土佐絵金歌舞伎伝承会による初の創作歌舞伎が上演され、贋作疑惑がかかけられた絵金の無罪を証明する物語を熱演。時にはアドリブで会場を沸かせる場面もあり、観客からは惜しめない拍手が送られていました。

続いて、19代山内家当主、山内豊功さんが「現代に通じる赤岡の先人の知恵」と題して講演。また、祝賀会ではハレの日にあふさわしい絢爛豪華な舞が披露され、式典に華を添えました。

土佐赤岡

絵金生誕200年記念式典



これからも
よろしゅう
おたのもうします

配 香南市女性防火クラブ連合会 炊き出し訓練

9月28日(金)富家防災コミュニティセンターで、香南市女性防火クラブ連合会のメンバー35人が、炊き出し訓練を行いました。震災時を想定した訓練とするため事前にメニューを決めず、当日準備した食材を基にメニューと分担を決めて調理に取りかかりました。調理中にも次々とアイデアが出て、準備した食材は全て使い切り、おでん、かき揚げ、さんまの煮付け、焼き肉風野菜炒め、豚汁など16品の料理が約1時間半で完成。これからも想定を変えながら、有事に備えた訓練を重ねて行きたいと思います。



思 OMOIYARI音楽会

10月4日(木)野市小学校で、思いやりの心を伝えようと、南国青年会議所主催による「OMOIYARI音楽会」が開催され、小学生をはじめ、野市保育所・幼稚園児ら総勢約900人が集まりました。

歌を聴かせてくれたのは「ル・クブル」のボーカル、藤田恵美さん。ヒット曲「ひだまりの詩」では、しっとりとした心温まる歌声に乗せて、サビの部分の手話を教えてくれました。フィナーレには、2008年に愛知県の小学生とともに作った「OMOIYARIのうた」を大合唱。音楽会を通して、改めて相手の気持ちを考えたり、人にやさしくする大切さを感じた一日となりました。



▲(写真上)野市保育所(下)野市幼稚園 ▲合唱する野市保育所・幼稚園児

お JICA出前講座 in夜須小学校

10月5日(金)夜須小学校5年生34人とその保護者が、JICA(国際協力機構)の山内桂さんを招き「お弁当から世界を見つけよう」と題した授業を受けました。コンビニの幕の内弁当を例に、多くの食材が外国産であることや、日本に輸入されるまでの移動距離に「へ〜!」と驚いた表情を見せる児童たち。お弁当を通して、世界とつながっていることを学ぶとともに、食べ物を無駄にしないよう自分の生活を見つめ直すきっかけとなりました。



▲山内さんの話を楽しそうに聞く児童たち

歩 夜須健康推進員 ウォーク大会

10月12日(金)ヤ・シバーク周辺で、日ごろから足腰を鍛えようと、夜須健康推進員によるウォーク大会が行われました。歩く前に骨密度の測定を全員に実施して、骨密度とウォーキングの関係について学んだ後、ヤ・シバークのボードウォークから手続内港を一周するコースでウォーキングを行いました。骨密度測定では自分の数値と平均値が年齢別ですぐに測定できるため、自分の数値の高さに驚いたり、喜んだり、にぎやかな測定となりました。

また、途中で出会う方にも歩くことの大切さを説明しながら歩くなど、積極的にウォーキングを広める場面も。終了後には、推進員自作の豚汁が振る舞われ、参加者の心とお腹を満たしていました。



▲ヤ・シバークのボードウォークを気持ち良さそうに歩く参加者



▲骨密度測定